# 東京美唄会会報

第28号
◆発行所◆
〒113-0022　東京都文京区千駄木3-36 11 センチュリー21
TEL.03 3824-0010
◆発行責任者◆
太田好彦

## 年頭のご挨拶

東京美唄会 会長　太田　好彦

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

皆様お揃いでお健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

東京美唄会は創立以来満十六年余り経過し、お陰様で順調に会員が増えてまいりまして、四百名強に達しております。これも偏に役員及び幹事の方々をはじめ会員各位並に美唄市等関係各機関のご支援とご協力の賜と厚くお礼申し上げます。

国内景気は電気・通信等IT関連産業を中心に企業取益の改善が見られますが、一方不安定な政局、雇用不安による個人消費の停滞、株価の低迷等のマイナス要因も抱え、総体としては依然先行不透明な状況が続いております。皆様方には、新世紀へ大きな希望と期待をかけておられることと存じますが、先ずは一日も早い景気の回復を願う次第です。

さて、美唄市は昨年市制施行五十周年という節目の年を迎えましたが、本年から新たに市民の参画による美唄二十一世紀まちづくりプランをスタートする運びとなりました。

「人かがやき、夢ひろがる美しき唄のまち」の実現をスローガンに物・心両面の豊かな都市づくりを目指して着実にその成果を上げておられることは誠に心強い限りです。昨今の人口減少、緊縮財政等厳しい状況下で、井坂市長を先頭に市民と一丸となって地道に街づくりに当っておられる姿に心から敬意を表する次第です。

年頭にあたり、美唄市の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をお祈りし、当会発展のため変らぬご支援を賜りますようお願い申し上げまして、ご挨拶と致します。

## 年頭のごあいさつ

美唄市長　井坂紘一郎

新年明けましておめでとうございます。

東京美唄会の皆さまには、希望に満ちた二十一世紀の輝かしい幕明けを、健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日ごろから本市の振興にお力添えをいただいておりますことに対しまして、厚くお礼を申し上げる次第でございます。

昨年は、長引く景気の低迷にあった我が国経済にも、緩やかながら改善の兆しが見られましたが、個人消費の伸び悩みや農産物価格の低迷など、本市経済は依然として厳しい年でありました。

このような中、本市は市制施行五十年を迎え、記念式典においてふるさと美唄のさらなる発展に、市民の皆さんと力を合わせて取り組んでまいることをお誓いするとともに、多くの記念・協賛事業を実施いたしました。

また、誰もが安心して暮らすことのできる住みよいまちづくりをめざし、高齢者専用住宅を配した共練第三団地の完成をはじめ、温水プールの建設や駅周辺整備では新駅舎の建設が始まり、さらには火葬場の移転整備に取り組むなど、様々な施策の展開を図ってまいりました。

しかしながら一方では、本市の振興発展に多大なご尽力をいただいた、名誉市民である元衆議院議員の渡辺省一氏がお亡くなりになるという悲しい出来事もございました。

今、地方を取り巻く情勢は、分権型社会や少子高齢社会への対応など、多くの課題を抱えておりますが、本市では本年から、これからの美唄のまちづくりの指針である、新しい総合計画がスタートいたします。この計画には広く市民の皆さんの意見が反映されており、様々な施策の推進にあたっても、「まちづくりの主役は市民」の観点から、市民の皆さんと一緒に取り組むまちづくりを進めてまいります。

東京美唄会の皆さまにおかれましては、ふるさと美唄に対しまして一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりになりますが、東京美唄会の一層のご発展と、会員の皆さまの益々のご健勝ご活躍をご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

## 第17回東京美唄会総会と懇親会のご案内

平成13年の総会・懇親会を下記の通り開催させて頂きます。会員の皆様はもちろん、まだ会員になっておられない方々にもお誘い合わせの上ご来席下さいますよう、ご案内申し上げます。

今年もまた**美唄から**、市役所関係・議会関係・農商工関係の方々がお見えになって美唄の現状を知らせて頂けますし、皆様もこの方々と親しく言葉を交わして頂きたいと存じます。

同時に、**美唄の物産**も展示されて、試食・試飲も自由であり、お陰様で会も大いに盛り上がります。

また、例年ビクター専属歌手、**奈良**（旧姓佐々木）**栄子さん**（鴻の台出身）が熱唱、会に華を添えてくます。

その上、**抽選会**もあり、豪華賞品が当たります。これは全員にとはいきませんが、おみやげは皆様にお持ち帰り頂くことになっています。

大広間での会が終りましたら、**二次会**も準備されており、三三五五個室に分かれカラオケなどお楽しみいただけます。

昨年の会の様子につきましては、本会報の４ページをご覧下さい。

記

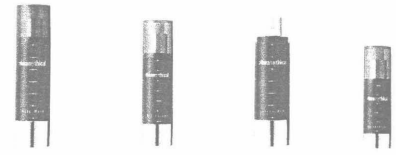
日　時　平成13年２月25日（日）　16時
（例年、土曜日でしたが、今年は日曜日）
会　場　日本閣　TEL 03-3367-2222
東中野駅下車
（新宿寄り出口より徒歩１分）
会　費　10,000円
（当日会費8,000円＋年会費2,000円）
（総会にご出席の方は年会費を別に送金なさいませんようご留意下さい）
出欠のご返信　ハガキは２月９日（金）必着でお願いいたします。

アウラ化粧品は“よりやさしく、より科学的に”が開発の心です。

アウラ化粧品の特長

- すべてに美白作用のある成分を配合
- 無添加（色素、香料、合成酸化防止剤、鉱物油、防腐殺菌剤、アルコールは配合しておりません。
- エアレスタイプ（気密）の容器使用酸化防止、汚染防止
- 健康な皮脂膜と同じ弱酸性

Auramythical　アウラミシカル（アウラ神話）



| ソフトウオッシュ クレンジング・洗顔 | オイルセラム 〈マッサージ・パック〉 | ローションデュー 〈化粧水・乳液〉 | モイスチャライザー 〈クリーム・美容液〉 |
|---|---|---|---|
| 100㎖ 5,000円 | 50㎖ 7,000円 | 100㎖ 6,000円 | 30㎖ 8,000円 |

サンプル、資料のお求めは

合資会社 アウラ

〒102—0074
東京都千代田区九段南３-４-３
アウラ九段２F
TEL03-3512-3731、FAX03-3512-3732

専務取締役、営業本部長
門野坂　泰（美唄東高８期）

# 一年間を振り返って

美唄市東京事務所　所長　大崎　聡

新春を迎え、心からお喜びを申し上げます。

日頃から美唄会会員並びに役員の皆さんから東京事務所へご支援ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

早いもので着任以来一年を経過しようとしていますが、私にとっては、初めての雪のない生活を体験しています。

振り返ってみますと、企業訪問などの際は、工業団地や優遇措置などの説明や地元美唄のPRなどお客様への情報伝達が十分であっただろうか、失礼はなかっただろうかと反省の毎日でありました。また、省庁においては目的の窓口が分からず右往左往するなど、冷や汗の連続でした。

こうした活動の中、美唄での自然エネルギーとしての雪の活用、宮島沼のマガンの状況、美唄出身の彫刻家安田侃さんの海外でのご活躍や花柳鳴介さんの地元でのイベントNEXT ONE開催などを課題として活用させていただき、関心を深めていただくとともに、お話を進めてまいりました。

お客様との出会いにおいて、北海道の出身または赴任経験のある方は、それだけでお互いすぐにうち解け、話しが弾んでしまいます。各省庁の北海道人会などへも出席させていただきますと皆懐かしそうに故郷や赴任先の思い出など話しかけてきてくださいます。

企業活動は、IT関連を中心に活発になりつつありますが、なかなか北海道への進出に関しては苦戦をしている状況です。昨年は有珠山の噴火や雪印の問題など厳しい世紀末ではありましたが、こちらに来て感じることの一つは中央部市部の方が抱く北海道への印象は一応に良いものであり、自然や観光などあこがれすら抱いていただいているところであります。しかし、経済活動や生活の場としては、確固たるイメージを持てないと言うのが現状であります。

まだまだ厳しい状況ではありますが、地元企業立地課とともに北海道に向く企業、北海道への進出を希望する企業が必ずあると信じて活動をしております。

本年から実施された省庁再編後、局の単位での大きな変更は、少ないものの、来年度予算では、各省庁が連携した事業形態が主流となりつつあり、縦割りの解消が着実に進展している感があります。

一方、国の予算編成においてIT、バイオ関連への配分が大きくなるとともに、公共事業の見直しや施策の重点化を進めておりますが、反面、地方分権と自立と言われる中、地方から都市部へ視点や流れが変わろうとしているように感じるのは私の思い過ごしでしょうか。

21世紀の主体となる自治体、地域社会のIT化やバイオ、IT関連産業の進展には、研究機関との連携、研究者、ベンチャー企業との連携が不可欠でありますが、北海道そして美唄市も行政はもとより、農業、各種産業におけるこうした新たな社会システムや産業形成の流れから取り残されないよう危機感を持って長期的取り組みを進めていかなければならないと切実に感じています。

これからも東京美唄会の皆様をはじめ、各界のヒューマンネットワークの充実を図りながら、政治、経済のめまぐるしい流れの中で最新の情報を素早く地元に提供するなど、美唄市の21世紀のまちづくりや市政の発展に微力ながらも役立つよう活動してまいります。

一年間を振り返って、思い付くままに感じたことや思うことを述べさせていただきました。

新しい世紀を迎え、美唄市への変わらぬご支援をお願い申し上げますとともに、東京美唄会の益々のご発展をご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

# 美唄市制施行五〇年記念式典に出席して

東京美唄会　副会長　西根　幸夫

阿部四郎会員と田中操元市議会議長

井坂市長と小生

美唄市制施行五〇年記念式典が7月2日、市内外から約700人が出席し、市民会館で開催されました。一時間の式典でしたが、開式に先立ち、開村から炭鉱繁栄期、そして現在に至る歩みのビデオが写し出され、吉岡兄妹（美中1年・中央小5年）のナレーションが場内に流れるのかわいらしい澄んだ声と歴史を顧みる映像が溶け合い感動致しました。更に美唄市とんでん太鼓保存会の勇壮な演奏と峰延東傘踊り保存会の踊りが華を添え、式典は厳粛な空気のなか幕を開けました。

式典の司会は美唄高3年、放送部員の加藤麻彩美・小山田樹里さんが務め国歌斉唱、引き続き開拓と発展に尽くされた先人の功績を讃え、感謝の気持ちを込めた黙祷が捧げられました。

井坂市長より「今日の五〇年を大きな節目として、市民一人ひとりが安心して暮らす地域社会の実現を目指していく決意を新たにしている」との式辞に続き来賓の知事・柿木道会議員・能勢岩見沢市長の祝辞の後、「市の鳥」をマガンにすることが発表されました。

市民合唱団の「メロディアスタウン―美唄会」が会場に響き渡る中、竹村由里奈さん（南美唄小6年）・宿南鉄兵君（峰延小6年）によって市民憲章が力強く読み上げられました。

最後に平塚市議会議長から「市民の皆様と共に、英知とたゆまぬ努力によって、十一世紀の未来に向かい、邁進することを誓います」と決意が述べられ、式典は無事終了しました。

また式典終了后にはバス一〇台で思い出をたどる市内見学が日曜日にもかかわらず市職員が分担してガイド役を引き受けて下さり、お陰で三時間にわたり当時の思いでをたどることが出来ました。炭鉱閉山后人口こそ三分の一に減りましたが、農業と工業を中心とする今の美唄を力強く美しく育てて来た市民の皆様の努力の跡が随所に散見されて強い感銘を覚えました。

最後になりましたが市長様はじめ当日お世話をして下さった市職員の皆様方に厚くお礼申し上げます。

# 美唄の農産物などを紹介します

美唄市経済部農政課　須田　正毅

美唄市の農業は、明治25年に高嶋農場が開設されたことにはじまり、先人の屯田兵や入植者の方々の苦労の賜物により、今日の広大で豊かな農地が築き上げられ、今では米の収穫量で国内6番目を誇る日本の食料を支える主要産地に発展してきました。

美唄での稲作の歴史は、峰延地区で明治26年に水稲試作が成功したことにはじまり、幾多の厳しい条件を克服した技術開発や品種改良の積み重ねにより、今では新潟産のコシヒカリにほぼ匹敵する食味の「ほしのゆめ」や「きらら397」など北海道を代表する美味しいお米が作られるようになりました。

また、道産米については、冷涼な気象条件のもとで作られているため府県よりも農薬の使用量は少ないわけですが、美唄ではさらにクリーンなお米にするため、畦にハーブを植えて害虫が住みにくい環境をつくる取り組みが進められているほか、雪の冷気を利用した米の貯蔵施設も昨年完成し、年中、新鮮なお米をご提供できる体制が整い、安心して食べていただけるようになりました。

お米以外では、トマト、玉葱、軟白長葱、南瓜、ズッキーニなどなどの野菜も栽培されており、中でも美唄のグリーンアスパラガスは、春先だけではなく4月から9月まで収穫されており、太くて柔らかいフレッシュなアスパラをクール便でお届けでき、そのままゆでたり、まるごと焼いたり、また、天ぷらにしたりして根本まで召し上がっていただける一品です。

また、美唄産のメロンは、全国的に有名な夕張メロンと変わらない気象条件の下で、玉、玉大切に育てられており、糖度ののった甘い赤肉です。

このほか、キク、ユリ、トルコキキョウなどたくさんの花も作られており、主に道内や関東方面を中心に出荷されています。

一方、美唄では北海道にしかないハスカップ（アイヌの方々はビタミンや鉄分が豊富なことから不老長寿の実と呼んでおり、美唄では勇払原野に自生していたものを転作田に栽培したものです。生産量全道一といわれている）も栽培されておりますが、このハスカップのほかにアスパラ、トウモロコシ、馬鈴薯などの収穫体験ができる畑が設けられているほか、そば打ちや豆腐作りなどが体験できる農家の体験工房もできました。さらに、札幌と旭川をつなぐ国道12号線などの幹線道路沿いには、野菜などを販売する農家の直売所も設置されてきており、低農薬で新鮮なものが安く購入できることから市内・外の方々に大変好評です。

また、中村町に伝わる味を地域の奥さん達が商品化した「とりめしし」も好評で、テレビなどでも紹介されており、市外の方が買いに来られるほどです。このほかには、地元産の大豆を使った味噌づくりや雪を利用した漬物づくりなどの取り組みもはじめれ、年々、女性を中心とした活動が盛んになってきております。

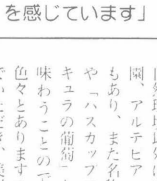
このように、美唄は厳しい農業環境の下にはありますものの地域が一丸となって頑張っており、東京美唄会の皆様におかれましては、郷土美唄の農家の皆さんが丹誠込めて作りましたお米や野菜などにご支援いただき、ご利用いただければありがたいと思います。

このほか、美唄には恵まれた自然環境以外に宮島沼や東明公園、アルテピアッツア美唄などもあり、また名物の「焼き鳥」や「ハスカップワイン」、「ドラキュラの葡萄」など美唄でしか味わうことのできないものが色々とありますので、是非おいでいただき、美唄の農業や農村を体感していただければと思います。

なお、主な美唄産農産物は次のところで取り扱っておりますので、よろしければご利用ください。

美唄産農産物取扱所など

| 取扱品目 | 取扱等時期 | 注文先 |
|---|---|---|
| 米「百万風」（ほしのゆめ）10kg、5kg袋 | 年中 | JAびばい　生活部　（電話）01266-3-0528 （FAX）01266-2-2014 |
| 冷凍ハスカップ　500g単位 | 7月中旬～下旬 | |
| グリーンアスパラガス　2kg、5kg、10kg箱 | 4月中旬～9月中旬 | JAびばい　農産園芸課　（電話）01266-3-0527 （FAX）01266-3-4600 |
| メロン「エルシーエロン」2個入、5個入箱 | 7月上旬～8月上旬 | |
| たまねぎ　20kg箱 | 8月下旬～12月上旬 | |
| メロン「ルビアレット」2個入、3個入、5個入箱 | 7月中旬～8月上旬 | JAみねのぶ　営農推進課（電話）01266-7-2333 （FAX）01266-7-2803 |
| たまねぎ　20kg箱 | 9月上旬～2月中旬 | |
| 米「無農薬米」（白米、玄米）10kg袋 | 3月～4月 | 中村つくし会　（電話）080-274-0797 |
| 米「低農薬・無農薬米」（きらら397、ゆきひかり、ほしのゆめ）10kg袋 | 2月～3月 | 元氣招会　（電話・FAX）01266-7-2525 |
| 米「減農薬米」（きらら397）10kg袋 | 随時 | 百商屋　（電話）01266-4-4686 |



# おめでとうございます
## 勲五等双光旭日章

美唄商工会議所会頭
**坂東　浩さん**

坂東さんは昭和44年から美唄商工会議所議員・副会頭等を歴任。美唄商工会議所五〇周年の年の受章に、「望外の喜びで、大変光栄です。私を支えてくれた人たちや家族とこの気持ちを分かち合いたい。炭鉱閉山後の厳しい経済状況の下で、企業・自衛隊・専修短大等の誘致のため市長と一緒に何度も上京したことが思い出深いですね。街の再活生化へ向けての取り組みについて、責任の重さを感じています」

## 人その人

白戸 鴻三氏

# 世界の最先端技術を拓く

## 株式会社　イーアールシー

昨年8月、美唄市東京事務所所長大崎聡さんと共に(株)イーアールシーの本社に白戸鴻三社長を訪ねた。白戸さんはお名前が暗示している通り、三菱鉱山美唄鉱業所鴻の台生れの三男とのこと　美唄についての一番の思い出は、巨人軍の二軍が旭台球場で試合した時にバットボーイをして馬場投手（のちのプロレスラーG・馬場）から記念にバットを貰ったことという。

61年、三菱鉱山人社したが、既に斜陽化しており、岐阜県中津川市に移り、三菱扇風機中津川工場に勤務した。20代になったばかりで北海道を離れ、ホームシックにかかり、少しでも美唄に近い所で勤めたいと思っていた。その時、埼玉県にある血圧計等を作っている会社が図面を書ける人を求めている話を耳にした。三菱時代に図面の書き方を多少教っており、その後独学で勉強し多少経験もあったので、応募し、採用された。63年夏のことだった。

「当時は、血糖やコレステロールを測定する機械は国産化されておらず、輸入したものを販売していたが、図面を書けるなら、同じものを作るように言われたのがスタートでした。

その2年後、糖分や化学分析を測定する時に使用する液体クロマトグラフィーの検出器で示差屈折計という測定器の一部を修理してほしいという依頼が舞い込んだのです　それは石英で作られた小さな直方体で、中がガラスで仕切られ、一方に基準溶液、もう一方に検査すべき試料溶液を通す構造になっていました。私はこの部品だけでなく、液体クロマトグラフィの検出器全部を作り、日本で初めて国産化に成功したのです　昭和電工から販売させてほしいと申し出があり、OEM供給をしていましたが、今では日立やヒューレットパッカード・バリアンなどにも供給していて、世界市場の50%を占めています。今話題になっている環境ホルモン、ダイオキシン問題の他、皆さんの取られた血液や尿の検査、サリン事件やカレー中毒事件等の薬物検査といった其合に幅広く利用されています。

この機械を製造しているのはうちとアメリカの最大手ウォータースという会社の2社だけですが、2年後にはウォータースも当社の製品を販売するよう現在交渉中です。もちろん、様々な特許はうちが所有しています。

ダイオキシンや環境ホルモンなど微量成分の分析に対処するためには機械の精度をあげる必要が出てきますが、検査すべき成分や溶液に微量な気体が含まれていますので精度管理が出来ない。そこで液体と気体を分離する脱気の開発に打ち込み、努力が実を結んだのが81年のことでした。

しかし、日本では社内だけでなく取引先からも変人扱いで相手にされませんでした。そのためその年の10月フランスで開かれた液体クロマトグラフィーの学会で脱気装置を発表したところ、光栄にも、絶賛を浴びたのです。アメリカでも同様でして、欧米の論文でも高く評価されました。

日本でも風向きが一変しまして、よく売れています　この製品の登録商標がDEGASSERでして、今も世界市場を独占させて頂いています。

水道の水は何故赤くなることがあるか　水道管がサビルからですね、何故サビルか。水に酸素が溶けこんでいるからですね。水から酸素を取ってしまえば、水道管は錆びないですね。

醤油から酸素を抜き取ってしまえば、酸化しないので腐ることはないですよね。」

液体から気体を抜き取る―何と奇抜なアイデアだろうか。それも息子さんが持っていたヨーヨーがヒントだったと聞いて2度ビックリだ。お祭りの露店でよく売られている、あの水入りの風船である。

一口に脱気装置と言っても用途は、家庭用水や工業用水用から食品・薬品用や医療機器用や、もちろん、液体クロマトグラフィなどの分析装置用に至るまで様々である。

昨年の4月、美唄に川口工場の分室が開設されたが、ここでは脱気装置の心臓部（膜モジュール）を製造しているとのこと。今後の見通しを伺ってみた。

「現在は必要な材料はすべてこちらから送っています。現地調達が無理だからです。今度、美唄工業高校に機械を送ります　目的は2つです。まず、こんな機械が世の中にあると若い人たちに見てもらって、関心を持ってもらうこと。それと、業者さんも見てくれてこれなら私たちにも作れるよという人が出てほしいのです。

若い人たちの中で僕も開発や設計がやってみたいという人がいたら夢の実現のお手伝がして見たい。意欲的な若者で部品加工をと言う人がいたなら是非挑戦させて上げたい。失敗してもいいじゃないですか。誰だって初めからうまく行きませんよ。行く行くは現在の分室を美唄工場とし、美唄工場で使用する部品は美唄で生産し、それを組み立て、完成した機械を、直接欧米に輸出できるようにしたい。

私はこのように望んでいます。」

約2時間、お話を伺い、ほんの一部をまとめたに過ぎないので、白戸さんの真意をお伝え出来たかは甚だ心許ないが、お許し願いたい。

（編集子）

# セピア色の一枚

## 互楽座の思い出

中村　尚雄

三菱美唄鉄道我路駅を降り二条通りを過ぎて、四条通り左奥の小高い所に互楽座があった。大正時代から周辺の炭鉱発展とともに、我路市街の各商店、料理店、旅館等が、活気を帯び、互楽座も我路地区のほか、周辺炭鉱地区に住む人びとの大衆娯楽施設として映画、芝居、演劇、等が毎日のように催されて多くの人を楽しませていた。

建物もそれなりに市街では一番大きく、古い記憶では木戸銭を払って中へ入ると下足を預け、下足の番号札を受け取ってから畳敷きの座敷に座って映画や芝居を見たものであった。

二階席も正面と両側に席があり、一階左り袖口には花道があって、戦前、活動写真時代には、当時の風貌が男性ながら髪の長いオカッパ頭、蝶ネクタイ姿の専属活動弁士が、二階へ上がる階段の中ほどで映画の動きに合わせ、声色などを使って喋りまくっていたのが、印象に残っている。

又小学校低学年のころ、近所の下雑貨やのおばさんに連れられて、二階花道の側の席で映画（真白き富士の根）で十何人かの学生が湖でボートの転覆事故で遭難するという内容の映画を見て、誰の目も憚らず小母さんと二人で声をあげて大泣きした苦い思い出がある。

又当時映画、芝居などが終わると、階段の中ほどで、ゾロゾロと帰って行く客達に、透き通った大きな声で、有難うございましたを何遍も繰り返して、なお次の何日には何の催しがありますから是非ご来場をと次の宣伝も忘れずに叫んでいたMさんの姿も思い出される。

互楽座の畳敷きは戦前、戦中と続いたが、戦後近辺炭鉱地区内の常盤台、宮の下、栄町、東明に会館などが建ち始めて映画、演劇などが催されるに従い、互楽座の観客数も減り始めた頃、名称も互楽館と改め、座席も畳席から木製の長椅子に変わっていった。

又、我路市街には新たに映画館が建設されたもののテレビ等の急速な普及と共に、その利用度は下降線を辿るのみであった。昭和初期に建てられたと言う互楽座も老朽化が激しく昭和三十年代半ばには解体されて我路地区自治会館として新築されたが、炭鉱の閉山等により我路には住む人も極端に少なくなって現在ではその建物だけが残っているのは昔の互楽座の華やかさを知る者にとっては寂しい限りである。

## 年会費納入のお願い

会員の皆様にはいつもご協力を頂きありがとうございます。

東京美唄会総会にご欠席された方のみ、会費（2,000円）を下記のいずれかの方法で送金されますようお願い申し上げます。

（総会にご出席の方からは会場受付で頂くことになっています）

○郵便局振り込み口座番号
0170－2－367030
東京美唄会
※手数料無しでご送金下さい。

○東京三菱銀行　千駄木支店
（普）063－0262212
東京美唄会　会長太田好彦

## 訃報

東京美唄会顧問

**渡辺省一さん**

同氏は9月29日美唄労災病院でご逝去されました。享年70歳。美唄市名誉市民。

昭和54年から連続6期衆院議員として活躍され、その間石炭対策特別委員長に就任、炭鉱閉山後の空知再興を基軸とする政策の実現に尽力されました。

ここに慎しんでお知らせ申し上げます。

# 歓迎をうけた里帰り
## 峰光会が九月に実施

峰延、光珠内出身者でつくる峰光会(会長・小田中昭雄)は、九月一日より三日間の日程で里帰りツアーを行いました。

「より身近かな同郷者の出会いと交流の場」として平成元年に発足した峰光会は、早くから里帰りの思いはありましたが実現する迄には至りませんでした。たまたま、本年は美唄市が市制を施行して50年の節目の年であること。加えて、会員の約半数が学んだ峰延小学校が開校百周年を迎え、九月には記念式典等の行事が予定されていることから、里帰り旅行を企画することになりました

二月の会報で里帰り計画のあることを知った郷里の皆さんからは、色々な示唆と支援を頂いて具体案づくりが進みました

また、東京美唄会から「里帰りツアーを計画しているグループには、美唄市への連絡等の協力をさせて頂く」旨の連絡があり、渡りに舟とばかり東京事務所に伺い、大崎所長より計画細部の助言や、バスをはじめ市が対応して下さるなどの協力を頂いて実現する運びになりました。

参加者は10名（男6、女4）でしたが、市のご好意によるバスで三日間、しかも案内者を付けて下さる配慮を頂いて多くの箇所を訪問・見学しながら、懐かしい郷里を一巡することができました。

訪問先では温かい歓迎と応待をうけながら郷里のなつかしい皆様との出会いと懇談、そして大きく変った郷里の現状に触れる等、感激とともに深く思いに残る実り多い里帰りになりました。

参加者が共通する印象や感銘をうけたこと、また思いに残ったことは数多くありますが、そのうちの幾つかを挙げてみます。

市役所訪問において、井坂市長をはじめ幹部職員の皆さんが温かく歓迎し、貴重な時間を応待して下さったこと　市の現状や課題についてのお話しを通じ、市長の市政に対する情熱と意欲を強く感じたこと

峰延農協訪問で、宮越組合長より地域農業が様変りしている状態や、環境変化に対応できる農業に取り組んでいる現状を聞き、一同感銘をうけたこと。

小・中学校を訪問し、生徒数の大巾な減少のなかで、父兄や地域と一体になって創意をこらした子供の教育に頑張っている姿。

美唄が生んだ調刻家・安田侃氏の作品が展示されている「アルテピアッツァ美唄」の広々とした芸術広場。

国道沿いで買い、宿舎で茹でて頂いて食べた"とうもろこし"のうまかったこと、等々です

このような実り多い里帰りが実現できた背景には、市関係者をはじめ郷里の皆さんのお力添えとご協力があったことに感謝を込め付記しておきます。

峰光会事務局長、片岡記

アルテピアッツァ美唄を見学

井坂市長を囲んで参加者・関係者全員で

### 里帰りの訪問・見学先と巡回した経路

**9月1日**
10:47 JR千歳空港発 — (バス乗車)美唄駅着 12:07 — 昼食 — 郷土史料館 13:10 — (表敬訪問)美唄市役所 13:40 — [illegible] — 介護老人保健施設 — 美唄東高校 — アルテピアッツァ美唄 14:10 — [illegible] — 専修大学 15:30 — 林業試験場 — ([illegible]経由) — JR峰延駅 — (表敬訪問)峰延農協 16:30 — 宮島沼 — (懇親会)(泊)月形温泉 17:40

**9月2日**
8:15 月形温泉出発 — [illegible] — 達布山中腹 9:20 — 峰延小学校 9:45 — 峰延保育所 — ゴルフ場 — ライスセンター 10:30 — 峰延中学校 11:00 — ニューまる川 11:45 — 郷里の皆さんと懇談(昼食) — 日本油脂工場 13:50 — 光珠内中央小学校 14:20 — (解散)JR光珠内駅 15:00

**9月3日**
(峰小卒業生)峰延小学校開校百周年記念式典に参加

# 第16回東京美唄会総会風景
平成12年2月26日(土)

さあ！受付開始ですよ

**渡辺和子さん**（大貫、市街）
札幌在住の孫が帰り、同居の孫が次々と風邪をひき、私もお付き合いしました。皆様、お気をつけて。

太田会長（左）と井坂市長（右）

坂東会頭による乾杯の音頭で懇親会始まる

市役所関係の方々 いかに美唄をアピールするか作戦会議中？

さる住職の勧めで、OLから歌手に大変身したとおっしゃる奈良さん

**甘楽美登利さん**（大森、三井）
相変らず写真展の準備に追われています。
ヤクルトの機関誌の表紙に採用されました

膳（？）は急げ！

懐古談に花が咲く（？）

**鈴木俊子さん**（茶志内）
茶志内郵便局からカタログが届き注文、故郷に恩返し出来たかな？

宮島沼はマガンばかりじゃありませんぜと熱弁をふるう大崎さん（現東京事務所長）

ハスカップ・ワインをどうぞと爽やかな中村さん

**高比良　昭さん**（常盤台）
元気で山歩きを続けています 昨年北ア、南アを縦走。
結構多忙な毎日です

市長と美唄市民栄誉章を受賞した彫刻家安田侃夫妻

抽選会の賞品を手渡してニッコリ（シャッターが遅れてすみません）

懇親会しめの万歳三唱の音頭をとる平塚市議会議長

**菊地絹子さん**（早坂、月見台）
昨年帰美、山に入って来ました。
家もなく淋しくも懐しく、走馬灯のように。

二次会にて　幹事も一緒にリラックス！

美声も写真に映っていますよ（？）

### 編集後記

◇峰光会による里帰り報告を読んで、うらやましく感じた方もおられると思いますが、同じような体験をされた方は、是非手記をお寄せ下さい

◇美唄の農業について、須田さんに昨年総会での話より広い観点から書いて頂きました。

◇須田さんを初め原稿をお願いした方々が快く早々と送付下さいましたことに厚くお礼申し上げます。

◇（株）イーアールシーの白戸さんにはご多用中長時間を割いてくれたことに感謝すると共に、川口工場分室が美唄工場へと成長する日の近からんことを切望いたします

◇「セピア色の一枚」次回も昔の風景を取り上げる予定です

（編集部）